

平成 27年度
第4号

耕 人

『耕人塾』
塾長木村民男
平成 27年 8月 17日(月)

『耕人塾』 宿泊研修に当たって

第4期の『耕人塾』でも宿泊研修を実施することにしました。今年のお盆明けの17日(月)、18日(火)は平日であり、勤務の関係で指導委員の方々には特にご苦勞をおかけすることになります。夏休み中でも塾生は学校行事や部活動で忙しいところですが、ご家庭のご協力もいただき塾生は31名中20名の参加、指導補助員・指導委員・運営委員の参加は16名で、総勢36名の参加となりました。予想以上の参加で嬉しく思っています。

宿泊研修には大きなねらいが3つあります。1つ目は、宿泊での十分な時間を使って多様な体験活動をすることによって「人間力」を磨く。2つ目は、『耕人塾』の仲間や先生方との交流を深め、多くの人の考えや生き方に触れる。3つ目は、奉仕活動を通じて自然や郷土に感謝し、地域づくりへの夢や感動を共有するということです。二日間の研修内容は次の通りです。

- 研修①「世界に誇れるあいさつとは？」(集団討議)：世界に誇れる究極のあいさつとはどのようなものか討議し、班ごとに発表します。どんな答えが出てくるのでしょうか？
- 研修②「班別創作ダンス」(表現活動)：各班で音楽に合わせたダンスを創作します。中・高校生の感性や発想、表現の多様性、班での協力性が楽しみです。
- 研修③「カレーライス作り」(協力性)：各班で協力し、普通のカレーをベースにして、具材やトッピングなどを工夫し、オリジナルなカレーを作ろう。さて、結果は？
- 研修④「キャンプファイヤー」(個の表現)：火を囲みながら、自分の夢や志などを大きな声で発表しよう。自分の考えをみんなの前で発表するということは勇気がいりますね。
- 研修⑤「旭山登山」(自然の偉大さに触れる)：日の出まで各班で旭山の山頂に集合し、朝日を拝もう。昨年は霧で視界はよくありませんでした。今年は晴れますように！
- 研修⑥「究極の清掃活動」(奉仕活動)：通常のコップ洗いだけではなく、清掃場所を自分たちで見つけ、徹底的にきれいにしよう。清掃場所を見つけるには気づく心が大切です。
- 研修⑦「座禅体験」(伝統文化体験)：奉仕の心について講話の後、座禅を体験します。後半は礼法について学びます。私たちは周りから生かされていることに気づくと思います。
- 研修⑧「これまでの活動を振り返って」(実践活動のまとめ)：個や班でのこれまでの活動を振り返り、班で一つの提言をまとめます。各班でどんな提言をするか楽しみです。

3つのねらいを踏まえ、積極的に活動しましょう。楽しい宿泊研修にしたいですね。

「人間力を磨くということ」

『耕人塾』では、「人間力」を「徳・体・知」の総合と考えています。「徳」とは、人の道に恥じない善い行いのことです。「体」とは、心身の健康です。「知」とは、物事の理を悟り、適切に処理する能力です。『耕人塾』では、講話や体験、実践活動を通じて、「徳を養い、心と体を鍛え、知を高める」研修を実施しています。今年度は実践活動の一つとして「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」を継続しています。そのような地道な活動が、自分は何を目指し、どのように生きていくべきかを考えるきっかけをつくってくれるはずで、今回の宿泊研修では「究極のあいさつ・清掃・ゴミ拾い」について深く考え、議論し、進んで実践することによって、「人間力」を磨いてほしいと願っています。そのためには参加する姿勢が大切です。